



Journal

第9号

2025(R7)年7月24日
山形県立寒河江高等学校

新聞部

2回戦		日時: 7月12日(土)		大会結果									
		於: ヤマリョースタジアム山形		1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
表	寒河江	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	8
裏	酒田西	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	4

3回戦		日時: 7月17日(木)		大会結果									
		於: ヤマリョースタジアム山形		1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
表	寒河江	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
裏	羽黒	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	5

夏にかける想い ～ノンフィクションを超えてく～ 各部県大会・山形県甲子園予選

5月下旬から6月中旬にかけて県高校総体が行われた。また、7月12日(土)、17日(木)にヤマリョースタジアム山形で高校野球選手権山形地区予選の2回戦、3回戦が行われた。水泳部は個人種目で宮地蓮(3・3)、松田快政(3・5)が東北大会出場を果たした。

7月12日(土)、ヤマリョースタジアム山形にて高校野球選手権の山形地区予選の2回戦が行われた。1回戦をシードで通過し、対戦相手は酒田西高校。6回表から逆転し8対4で見事な勝利を勝ち取った。7月17日(木)、2回戦と同じくヤマリョースタジアム山形にて3回戦が行われた。対戦相手は羽黒高校。寒高からは3年次生徒が応援に駆け付けたが5対2で惜敗した。以下は野球に青春を捧げた主将大沼英生さん(3・4)からのコメント。

野球部主将「コメント」

2回戦(対酒田西)ではどのような気持ちで臨みましたが自分たちが今までしてきたことをすべて出せる場がその日で最後だったという気持ちで戦った。3回戦(対羽黒)ではどのような気持ちでしたか。また、どのようなことを意識して臨みましたか。春の大会でゴールド負けをしていたので、戦うと決まったら絶対に勝つと2回戦の時より意識した。2回戦より厳しい戦いだと言われ、自分たちがやっていた粘り強い野球をしようとする全員で臨んだ。野球部の1、2年次生にメッセージ。3年次生の選手が5人と少ない中で後輩が

Photo



サポートしてくれることも多く、その面でも感謝している。1、2年次生はたくさん力を秘めていると思うので、今大会の負けをばねに自分たちの代を超すチームになろうとしたい。

11位 松田快政
板垣匠哉
宮地蓮
菊池陽大

水泳

日時: 6月20～22日
於: 加藤総業
光ヶ丘プール

【個人】
男子400m個人メドレー
7位 宮地蓮(3・3)
東北大会出場
男子200m個人メドレー

8位 宮地蓮
東北大会出場
男子400m自由形
1位 松田快政(3・5)
東北大会出場
男子200m自由形
4位 松田快政
東北大会出場
男子100m自由形
28位 菊池陽大(3・5)
男子200m背泳ぎ
15位 菊池陽大
男子100m背泳ぎ
17位 板垣匠哉(3・5)

【団体】
男子4×100mメドレーリレー
9位 板垣匠哉
宮地蓮
松田快政
菊池陽大
男子4×フリーリレー

バスケット

【女子】
日時: 5月30日(金)
於: 酒田西高校
○寒河江77・50
新神・新南合同チーム
×寒河江42 山形城北
【顧問寸評】
3年生最後の試合でしたが、チーム一丸となつて初戦勝利を飾ることが出来ました。声援ありがとうございました。

【選手寸評】
一人一人が全力で戦い、自分たちがプレイができた。一勝することが出来た。最後まであきらめず全力で戦い抜きたい試合で終わることが出来て良かった。

【男子】
日時: 5月30・31日
於: 山形中央高校
○寒河江20 長井工業
×寒河江0・2 羽黒
【顧問寸評】
初戦は理想的な勝ち方ができて、成長が見られました。2回戦は

格上が相手でしたが、勝負できた場面もありました。この一年を踏まえ、新チームではまず春高県予選出場を目標に頑張ります。応援ありがとうございました。

【選手寸評】
1回戦は自分たちのサーブで点差を付けて勝利することが出来た。2回戦は課題の残る試合だったので、新チームで改善していきたい。

【バドミントン】
【女子】
日時: 5月29日(木)
於: 米沢市営体育館
×寒河江3 九里学園
【顧問寸評】
最後まで攻めの姿勢で戦えていたと思う。新体制では基礎を見直しリーグ戦に向けて日々の練習を頑張つてほしい。

【選手寸評】
3年生は今までの練習の成果を出せたので良かったです。1、2年生は新体制で試合をイメージした練習をしながら頑張ってください。

【サッカー】
日時: 5月24日(土)
於: 酒田市営光ヶ丘球技場
×寒河江0・4 鶴岡東
【顧問寸評】
5バックの守備的なチーム

【選手寸評】
5バックの守備的なチームで臨んだが負けてしまった。3年生はここで終わりが、この県1部の相手と

自分が社会貢献!?

みんなとつながる献血の輪

今週7月25日(金)、校内で献血があることはご存じだろうか。今回は献血を希望する人や、また受けたことがない人に向けて、献血について紹介しよう。

まず、近年、20代や30代の献血者数は年々減少している。そのため、今後、若者の血液が不足するのは、という予想も出ている。

このような若者の献血離れの解消のために、

も学校で受ける献血は受けやすく、社会のためにも役立つ。体重や年齢が条件に合えば受けられるのでぜひ受けてみてはどうだろうか。また、200ml 献血など高校生にとつて受けやすい条件のものもある。気になることや、やつてみたいと思う気持ちがある場合には、赤十字血液センターなどに相談してみてもいいだろう。

できた試合はこれからのサッカー部の良い糧となるだろう。一つ一つの課題を潰し、ぜひ新人戦では勝ち進んでほしい。

お詫び

第8号で記載した剣道部の結果に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

2回戦進出
加藤聖翔(3・1)
細谷蔵之介(3・3)

心よりお詫び申し上げます。

